鷹取山自然観察会会報

2015.6.9　No.8

鷹取山の野鳥調査について

―中間報告―

鷹取山自然観察会では、鷹取山の自然状態を把握するため生き物調査を行っています。会報6号では植物相調査を7号では蝶類調査の結果を報告してきました。ここでは昨年行った野鳥調査の結果を報告します。

神奈川県で見られる鳥の種類は日本野鳥の会神奈川支部の資料によると県内で記録された鳥類は、在来種が363種(自然渡来かどうか疑問の残る5種を含む)、帰化逸出種が54種の合計417種と記載されています。同神奈川支部の横須賀市東部で記録された鳥は約150種としています。また、横須賀市教育情報センター.のWebでは三浦半島で見られる野鳥として112種を掲載しています。内50種ほどは水辺の鳥であるため、60種位が山や野原で見られることになります。

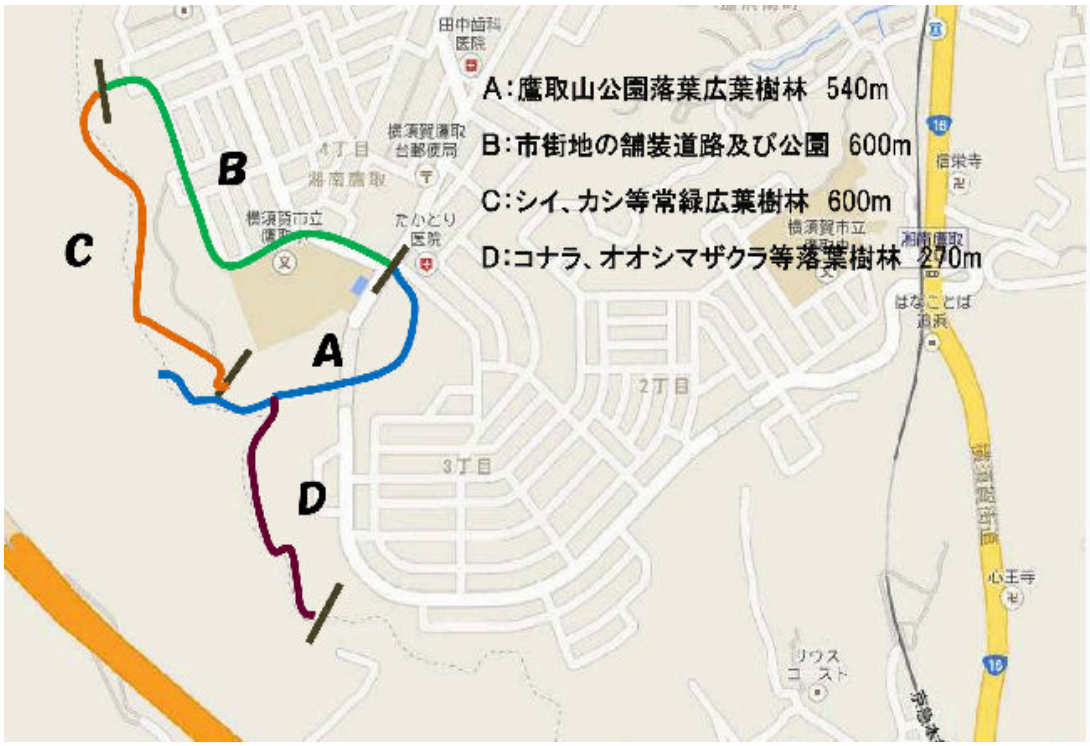
今回、鷹取山自然観察会では野鳥の観察と冬から春にかけて野鳥の種と数の調査を行ったので報告します。

野鳥は他の動物に比べて移動距離が大きく、夏鳥、冬鳥など季節によって動を繰り返しているので地域の環境を把握するためには継続的な調査が必要だと思います。

また、野鳥は山林、草原、田畑、水辺などですみ分けを行っており、鷹取山でよく見られるシジュウカラ、ヤマガラなどは山林を好み、ホオジロ、ツグミなどは草原を好むようです。観察場所である鷹取山には田んぼや池など水辺が少なく、水鳥が観察されません。このため、種の数も限定されてしまいます。

鷹取山自然観察会では2014年12月から2015年5月までの6カ月の間月一度の野鳥

野鳥観察　Cルート



調査を行ったのでその結果を報告します。

1. 調査方法

調査は環境省自然環境局及び日本自然保護協会における「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」に準じて行いました。調査ルートは植物相調査の図1のコースで行い、植生の違う4区間に分け調査しました。区間の植生の特徴は図1に記載したとおりです。調査頻度は月一度第一金曜日に行い、調査ルートを歩きながら、目撃、鳴き声（地鳴き、さえずり）で種を判別し記録しました。

２.調査結果

今回は、6回の野鳥調査を行いました。調査日によっては気象条件などにより出現する数に違いがありました。調査日別の調査結果を表に示しています。全期間を通して26種が記録できました。調査期間を通して数が多い鳥はスズメ、ヒヨドリ、メジロの順であり、これらは留鳥でした。

調査区間ごとの結果では、Ａ区間は鷹取山公園内で草地の他、クヌギ、コナラの落葉樹とシイなど照葉樹もある区間です。この区間では種の数は21種と一番観察できました。草地にはアオジ、ホオジロ、ツグミ、カワラヒワなどがときどき観察できました。また、樹林内ではウソ、シジュウカラ、コゲラ、ジョウビタキなどが観察できました。珍しいものとしては４月にヒレンジャクが群れて観察されました。このあたりを通過した休憩地として見られたものと思われます。

Ｂ区間は住宅地及び児童公園があり、種の数としては11種が観察できました。珍しいものとしては3月に桜並木の枝に多くのウソ、アカウソが観察されました。Ｃ区間はシイ、カシなどの常緑樹の木々が多く、アオジ、コゲラ、ウグイス、ヒヨドリ、コジュケイなど9種が観察されました。Ｄ区間はコナラ、オオシマザクラなどの落葉樹が多い場所であり、ウグイス、コゲラ、シジュウカラ、ヤマガラなど11種が観察されました。

３.その他

今回、12月から観察しやすい冬から5月

まで調査を行いました。冬は繁殖期ではないため、多くの鳥はさえずりよりも地鳴きが多く、判別がしづらいことが多かった。たとえば、ウグイスのさえずりは「ホーホケキョ」と誰でもが知っていますが、冬の地鳴きは「ヂャッ、ヂャッ」と鳴いています。シジュウカラのさえずりは「ツピ、ツピ、ツピ」ですが、地鳴きは「ジュク、ジュク」と鳴きます。見逃した野鳥もあったため観察された26種よりも多く生息しているものと思われます。

これから春から夏、秋にかけて夏鳥も見られます。調査終了後にも鷹取山ではツバメが見られ、オオルリ、キビタキ、センダイムシクイなども運が良ければ見られると聞きました。ホトトギスも夏鳥として飛来して特徴ある鳴き声を聞かせてくれます。また、アオゲラ、ノスリなども生息していると思います。我々自然観察会では鷹取山周辺について今後も継続的に調査を行っていきます。

植物相と違い野鳥は季節により移動もあり、環境の変化によって出現数も変化してきます。動物相の分布を知るためには調査を繰り返すことによって地域の実態が分かってくるようです。

アマチュアの調査であり、種の同定に間違いがあるかもしれませんが、継続することで精度が上がっていくと思っています。

当会では、2015年は12月から野鳥調査を再開する予定です。観察することにより、絶滅していく種やこの地域で新たに見つかる種もあるかもしれません。調査することは楽しみでもあり、鷹取山周辺の分布がはっきりしてくると思います。

(本多久男)

＜調査に参加した人＞

（鷹取山自然観察会）本多久男、中村紀雄、高橋和子、島村健二、渡邊眞章、板垣加代子（順不同、敬称略）

上から、アオジ、コゲラ、ホオジロ、ウソ。

	科　名	種名	12月5日	1月9日	2月6日	3月6日	4月3日	5月1日
1	キジ目キジ科	コジュケイ	1	1			5	1
2	キツツキ目キツツキ科	コゲラ	1	3	2	1	2	
3	スズメ目アトリ科	アカウソ				1		
4	スズメ目アトリ科	ウソ			3	7		
5	スズメ目ウグイス科	ウグイス	1		1	1	4	6
6	スズメ目エナガ科	エナガ			3			
7	スズメ目カラス科	ハシブトガラス		3	7	2	2	1
8	スズメ目カラス科	ハシボソガラス	3					
9	スズメ目シジュウカラ科	シジュウカラ	2	3	2	3	1	3
10	スズメ目シジュウカラ科	ヤマガラ					1	
11	スズメ目スズメ科	スズメ	9	11	3	4	6	8
12	スズメ目ヒヨドリ科	ヒヨドリ	9	9	4	7	6	1
13	スズメ目ホオジロ科	アオジ	2	1	5	2		
14	スズメ目ホオジロ科	ホオジロ		1		1		
15	スズメ目ムクドリ科	ムクドリ			3		3	2
16	スズメ目メジロ科	メジロ	12	3		1	3	1
17	スズメ目アトリ科	カワラヒワ				2		
18	スズメ目チメドリ科	ガビチョウ					1	
19	スズメ目ツグミ科	シロハラ	1		1	1		
20	スズメ目ツグミ科	ツグミ		1	1	1		
21	スズメ目ヒタキ科	ジョウビタキ			1			
22	スズメ目モズ科	モズ			1			
23	スズメ目レンジャク科	ヒレンジャク					13	
24	タカ目タカ科	トビ	1		3	1		
25	ハト目ハト科	キジバト	3			2	2	
26	ハト目ハト科	ドバト		2		1		
合　　計		羽数	45	38	40	38	49	23
		種合計	12	11	15	17	13	8

＜総会の開催について＞

鷹取山自然観察会では5月16日の自然観察会終了後に総会を開催しました。当自然観察会は一昨年４月に発足して２回目の総会でもあり、昨年度の会計報告と今年度の事業計画について説明しました。昨年度は横須賀市市民協働推進補助金に申請して予算の一部を頂いた。

今年度の事業は昨年度とほぼ同様な計画で植物相調査、蝶類調査などを行うこととしました。事業計画は次のとおりです。

＜平成27年度事業計画＞

1.自然観察会の開催

鷹取山自然観察会は次の日程（原則第二日曜日）で観察会を開催する。

集合場所：集合場所駅改札出口　9時20分集合（雨天の場合は水曜日に順延）

参加費：１００円（保険料・資料代）

2.植物相調査

調査は原則として第４金曜日に行う。雨天の場合の日曜日に順延、更に水曜日に順延する。集合時間、場所10時～15時頃、鷹取山公園東屋

3.チョウ類調査

調査は原則として第1金曜日に行う。雨天の場合は翌週の日曜日に順延、更に水曜日に順延する。集合時間、場所は植物相調査と同じ10時～12時30分頃

4.野鳥調査

調査は原則として第1金曜日に行う。雨天の場合は翌週の日曜日に順延、更に水曜日に順延する。集合時間、場所は植物相調査と同じ10時～12時30分頃

4.樹木板のメンテナンス

6月下旬に樹木プレートの掛け替えを行う。

5.巣箱作りと掛け替え

10月上旬使用した巣箱の消毒と巣箱の掛け替えを行う。

6. 会報の発行、掲示板、ホームページによる情報発信

年4回（6,9,12,3月）会報を発行し、鷹取山の自然情報を発信する。会報は会員のほか横須賀市等へ送付する。また、鷹取山公園掲示板及びホームページにより季節の自然情報を掲載する。

7.鷹取山の観察路の整備など今後検討する。このことについて横須賀市と相談していく

＜平成27年度予算案＞

(収入)　　(単位　円)

項　目	金　額	内　　訳
会　費	25,000	@1,000円×25人＝　25,000円
観察会収入	18,000	@100円×15人×12回＝18,000円
繰越金	16,175	16,175円
合　計	59,175	

(支出)　　(単位　円)

項　　目	金　額	内　　訳
消耗品費	10,000	樹木板消耗品　5,000円 巣箱用消耗品　1,000円 紙代　3,000円 その他消耗品　1,000円
謝　金	0	
通信運搬費	8,200	封筒　1,000円 切手代　7,200円
印刷製本費	8,500	会報印刷　2,000円 コピー代　3,000円 掲示板印刷代　3,500円
備　品	0	
保険代	16,470	レクレーション保険 観察会　@1,350×12回＝ 16,200円 振込代　270円
	1,000	三浦半島まるごと博物館年会費　1,000円
合　計	44,170	

ネジバナの知恵に学ぼう

市川　實

皆さんは、名前の分かっている植物を詳しく調べるときに、どうしていますか。私は以前、あれこれと複数の図鑑や関連の本を読んで調べましたが、今はインターネットを使って検索することで、とても詳しく調べることができるようになりました。

５月下旬～６月にかけて、そのかわいい姿から誰でも知っているネジバナが咲きます。鷹取山の広場や、その周りの公園など、どこにでも咲いています。

我が家にも数本毎年咲きます。緑色の茎に螺旋状にピンク色の花が咲き、緑ピンク緑ピンクと交互にねじれて咲く姿からすぐにネジバナの名前も浮かびます。また、花の咲き方が個性的で、詰まった螺旋でびっしり花をつけるもの、それほどでないもの、背の高いもの、低いもの、左巻きや右巻きもあります。

ネジバナは、古くはモジズリといいました。モジズリとは不思議な名前だと思って。インターネットで調べました。百人一首に「みちのくの　しのぶもじずり誰れゆえに　乱れそめにし　我ならなくに」の歌があります。その中の「しのぶもじずり」の「しのぶ（信夫）」は地名で現在の福島市、「もじずり」は忍草（しぼくさ）を摺って緑色に染めた絹織物のことだと書いてあります。江戸時代に福島市の信夫地方の名産に「もぢずり（文字摺り）」があり、乱れ模様の摺り衣（すりごろも）のことで、摺り衣は忍草（しのぶぐさ）の汁を、模様のある石の上にかぶせた布に擦りつけて染める方法で「しのぶずり」などとも言われました。この「しのぶ」は、産地の信夫とも、忍草のことだとも言われていることがわかります。だから歌と花のモジズリは関係ありません。

それでは何故ネジバナをモジズリというのでしょう。さらに検索すると、今は廃れてしまったもじずりを再現した写真がありました。藍の生葉で緑色の大きな升目の格子模様を描き、升目の中に紅花でピンク色に染めます。すると、緑ピンク緑ピンクの模様になります。なるほど。ここまで来れば、当時流行していた「もじずり」が花の名前になったことがわかります。そして、もじずりが廃れた明治時代になり、近代工業の発展を支えた「螺旋（ねじ）」が生活の中に入り、モジズリがネジバナへと名前を変えたことが推測されます。

でも、どうしてネジバナは他に類を見ない、ねじれるという変わった姿をしているのでしょう。ここからは私の勝手な推理です。それはバランスの問題ではないかと思います。グラジオラスを植えたことがありますか。グラジオラスは、風が吹くとすぐに倒れてしまいます。それは一方にだけ花が付いているからで、その重みに耐えられずに倒れるのです。それに対してネジバナは螺旋状に花を付けることでバランスを保ち、しかもたくさんの花を付けることができます。深山にはミヤマモジズリというのがあり、その写真を見ると、花が一列に並ぶのやねじれるように乱れて咲くのがあります。ここから、やがてねじれて咲くものへ進化していったのかもしれません。こんな風に考えると、植物を調べることがとても楽しくなります。これからも植物の観察や詳しく調べることで、植物に負けない様に頭を働かせ、老いに勝ちたいと思います。

掲示板の設置について

鷹取山山頂掲示板

◆　経緯

鷹取山自然観察会では、鷹取山の自然を地元住民の方々に広く知っていただくため昨年度「鷹取山自然観察の里山づくり」として横須賀市市民協働推進補助金申請して鷹取山公園に掲示板の設置をお願いしました。しかしながら補助金審査会では「掲示板は団体が設置するべきものでなく市の担当課が設置するべきもので、今後、市と協議して設置に対して努力するよう」コメントを頂きました。その後、環境政策部へ相談した結果、今年３月末に市環境政策部として掲示板を設置いたしました。

横須賀市の自然環境の保全に対する対応に感謝申し上げます。

◆　掲示板による自然情報の提供

鷹取山自然観察会では、４月から毎月ポスターを作成して掲示板に掲示しています。

掲示板には鷹取山で見られる植物、昆虫、野鳥など季節に見られる生き物をわかりやすく紹介していきます。その他、自然観察路を散策する場合の樹木マップや自然観察会の案内を掲示しています。鷹取山を散策する市民の方々に自然のガイドとして掲示板を設置することは自然の多様性などを知っていただくなど様々な効果があると思われます。掲示板設置後、季節の花などわかり易い、今後も情報提供を続けてほしいとの意見が寄せられている。

鷹取山自然観察会　（HP：鷹取山自然観察会（鷹取山の花と樹））

http://homepage3.nifty.com/takatoriyama/

連絡先：
世話人代表：　本多久男
e-mail：
fwjg2350@mb.infoweb.ne.jp
tel　　：090-4177-0164

ドローンによる鷹取山山頂付近の空撮